



(写真提供：一般社団法人 茨城県観光物産協会 写真撮影地：土浦市手野地区)

## 今月の1枚

# ハス田と筑波山

茨城県はレンコン日本一の生産地です。全国の約5割、東京市場に限っては約9割のシェアを誇ります。特に、土浦市の木田余・沖宿・田村・手野地区などの霞ヶ浦湖岸の低湿地帯は、野草が堆積して土壌が肥え、その堆肥で水温が高いという好条件が揃っていることから、歯ざわりの良いレンコンが育つといわれています。この地域では、7月下旬から8月上旬にかけて、筑波山を背景に美しい大きなハスの花が田いっぱい咲き誇り、道行く人々の目を楽しませてくれます。

「ハス」は植物名であり、葉や花、実や地下茎・地下肥大茎の全部を言います。一方、「レンコン」は、ハスの地下肥大茎の部分の部分を指します。「ハス」が大陸から渡ってきた歴史は古く、昨年、編纂開始から1300年周年を迎えた「常陸国風土記」には、一昔々、天より流れ来た水が溜まって出来た沼で採れるレンコンは、他では味わえない良い味であり、病気の者もこの沼のレンコンを食べると、たちどころに癒える一と記載されています。

レンコンは、輪切りにすると穴が開いていて見通しがきくという縁起担ぎから、おせち料理をはじめ、おめでたい席での料理には欠かせない食材です。また、最近では、レンコンの粉を練り込んだクッキーや麺、カレー、花の実の甘納豆など、工夫を凝らした特産品なども販売されています。

このように「ハス」は、古くから食用、観賞用、薬用として人々の生活に彩りを与えていました。

これからの季節、紫峰筑波山を背景に、カメラのファインダーいっぱい美しく咲き誇るハスの花を探しに、土浦市を訪れてみてはいかがでしょうか。また、お土産に銘産のレンコンはもちろんのこと、新しい形のレンコン产品を楽しんでみても良いかもしれませんね。



◆茨城県土浦市(木田余・田村地区・沖宿地区・手野地区)  
JR常磐線土浦駅より、車で約15分  
常磐自動車道より、「桜土浦IC」より約20分  
「土浦北IC」より約10分